

No.74
2019
12/25



はちおうじ

JR東労組
八王子地本
八王子地本
ホームページ
「東労組八王子」で検索

「生涯労働者」たる先輩は東京・水戸・八王子地本を支持！！

不当労働行為に抗したたかう現役を支える共同声明

私たち水戸地本OB会と東京地本OB会は、本日12月22日水戸の地に於いて合同会議を開催した。年末の多忙な中この緊急な会議は、12月19日の中執で水戸地本の鈴木代理と山口書記長に組合員権停止、遠山バス関東議長に専従解除が発せられたからであり、怒りを持って抗議する。

会社が資本の論理から支配の論理に転換して、東労組敵視の姿勢を露わにした2018年2月以降の事態はご承知の通りである。いや、公然かつ姑息な東労組脱退策動＝不当労働行為はいまもって止んでいないのである。

会社攻撃に棹さず残念な事態、即ち、中央本部と追随する地本が東京、水戸、八王子3地本への理不尽な抑圧をくり返していることである。吉川、宮澤両君を始め14名の中執排除、規約改悪による代議員数削減、基金の取り崩し、専従不配置、東京の阿部・水戸の黒沢・八王子の金井委員長の組合員権停止など枚挙にいとまがない。

バス棚倉分会のたたかいを、契機に東日本会社の犯罪行為を満天下に明らかにしていくことが、会社攻撃を阻止する極めて有効な反撃と私たちは考える。労働委員会提訴は時間がかかる、と言うが、西武観光バス所沢の組合つぶしでは2年で会社が断罪されているし、佐野サービスエリアのストや長崎バス労組のたたかいに学ぶべきである。

組合員に寄り添わず、会社に恭順し平身低頭することが、労使関係と言うのは明確な誤りである。中央本部には矜持がないのか、と問いたい。どこを見て運動しているのか、とも言いたい。

「3地本は本部に文句を言っていないで出ていけばいい、と組合員は言っている」との弁を三役の責任ある者が語っている。組合員に己の意見をダブらせているだけ、本音だろう。そもそも12地本の総団結などははなから眼中にない、基金15億円の私物化にしか見えないのだ。何と軽薄なことだろう。

ファイテングポーズをとり、バス棚倉の仲間の後塵を拝して会社の不法行為を赤裸々にする仲間が澎湃といる。私たちOBは「生涯労働者の気概」を忘れず、たたかう若き仲間と連帯することをここに誓う。

ファイト！たたかう仲間と固くそして熱く連帯する共同声明とする。

2019年12月22日
水戸・東京地本OB会合同会議